

府農農振第19号  
令和6年1月17日

有限会社 大里建設  
代表取締役 大里 光明 殿

内閣府沖縄総合事務局長  
三浦 健太郎

沖縄総合事務局所管農業農村整備事業優良工事等の受注者等の  
局長表彰者の決定について（受賞の決定通知）

このことについて、沖縄総合事務局所管農業農村整備事業優良工事等の受注者等の表彰実施要領（平成20年9月30日付け府農土改第590号）に基づく審査の結果、下記のとおり貴社を表彰者に決定したことを通知します。

#### 記

- 【表彰の部門】 優良工事・業務部門  
令和3年度石垣島農業水利事業  
大浦3号送水路伊原間工区（その1）工事
- 【表彰式の日時】 令和6年2月20日（火） 15時30分から
- 【表彰式の場所】 沖縄総合事務局 6階特別会議室

## 【優良工事部門】

対象工事：令和3年度 石垣島農業水利事業 大浦3号送水路伊原間工区(その1)工事

受注者：有限会社 大里建設

### 【工事概要】

本工事は、中心部と北部地域を繋ぐ唯一の主要道である県道下に大浦3号送水路を建設するものであり、交通量が多く片側交互通行で施工を行う工事。

工事場所：沖縄県石垣市字伊原間フクイダ原地内

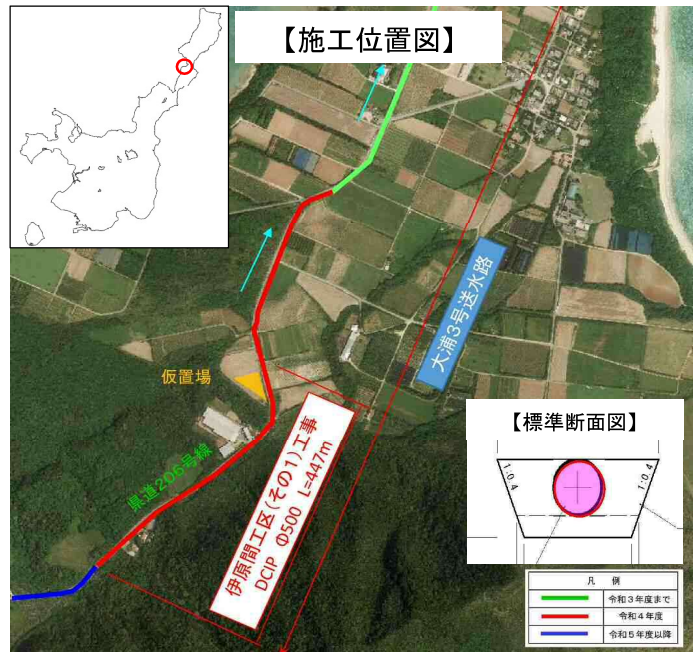
工期：令和4年6月24日～令和5年3月10日（260日間）

施工概要：管水路(DCIP φ500) L=447m

### 【表彰理由】

- 掘削等作業及び施工管理等に情報化施工技術を活用し、効率的な施工を行うとともに施工精度の向上を図っている。
- 接触災害防止のための人検知衝突軽減システムの設置、遠隔確認自動録画システムによる作業員だけでなく一般車両も含めた遠隔監視等を行い安全性に配慮している。

以上のとおり本工事は、複数の先進的な取り組みによる効率的な施工に関する工夫及び安全対策に関する工夫が高く評価できるため表彰するものである。



### 【効率的な施工に関する工夫】



- MGバックホウ、出来形管理用TSなど情報化施工技術の活用

### 【安全対策に関する工夫】



- 人検知衝突軽減システムによる接触災害防止

- 遠隔確認自動録画システムによる安全対策(24時間監視)

# 表彰状

令和三年度石垣島農業水利事業  
大浦3号送水路伊原間工区(その1)工事

有限会社 大里建設 殿

貴社は頭書工事の施工にあたり  
的確な技術力と施工管理をもって  
工事の完成に尽力され他の模範と  
なる優秀な成果をおさめ農業  
農村整備事業に貢献されました  
よってここに表彰します

令和六年二月二十日

内閣府沖縄総合事務局長

三浦 健太郎





# 大里建設に局長表彰

## 石垣島水利事業で優良工事

【那覇】2023年度沖縄総合事務局所管農業農村整備事業の優良工事表彰式が20日午後、沖縄総合事務局であり、石垣市の(有)大里建設(大里光明代表)が優良工事部門で局長表彰を受けた。

同表彰は設計・施工技術のレベルアップや地域貢献活動への積極的な取り組みなど、受注者の意欲高揚を図り、事業の円滑な推進に資することを目的に、成果が優秀で他の模範となる受注者をたたえるもの。

大里建設は2021年度石垣島水利事業の大浦3号送水路伊原間工区(その1)工事を担当。工期は22年6月～23年3月の260日間。

表彰理由は掘削作業や施工管理に情報化施工技術を活用、効率的な施工を行って施工精度の向上を図ったほか、接触災害防止のための人検知衝突軽減システムの設置など安全面に配慮し



表彰を受けた(右から)大里秀樹専務、大里光明代表と石垣島農業水利事業所の安武秀一所長。20日午後、沖縄総合事務局

資本の整備に貢献することが使命。受賞に甘えることなく、品質確保のため技術力を高め、今後も水利事業の発展に微力ながら尽くしたい」と述べた。

表彰した三浦健太郎局長は「他の模範となる工事だ」など述べ、技術力をたたえた。

工事で現場を指揮した大里秀樹専務は取材に「情報化施工に取り組んで3年間、勉強しながら慣れない中でスタートだったが、技術を活用し、作業も効率よく安全にできた。技術力を一層高めたい」と意気込んだ。大里建設は1988年創業、社員4人。